

コード委員会の今後の活動計画

検討中の主なトピック

【バイオセキュリティに関する新章】

- swillの定義に関する検討を含む。2022年2月のコード委員会でOIE事務局の作成する作業計画の報告がある予定。

【輸出入手続きと獣医証明書の見直し】

- 最近の科学的知見に基づき、第5部（貿易措置、輸出入手続及び獣医証明）について、見直し予定。優先的に作業を行うのは**出発(輸出)時の措置に関する章**（5.4章）と、**到着(輸入)時の措置に関する章**（5.7章）。2022年2月のコード委員会でOIE事務局の作成する作業計画の報告がある予定。

【抗菌剤の責任ある適正使用（第6.10章）】

- コーデックスの薬剤耐性に関する特別部会(TFAMR)において策定作業の行われていた実施規範が2021年11月の総会(CAC44)で採択されたところ。
- 今後、OIEのAMRワーキンググループで、6.10章の見直しを進め、他の関連するAMR章(6.7, 6.8, 6.9, 6.11章)についても見直しが必要か検討。 54

検討中の主なトピック

【動物の輸送に関するアニマルウェルフェア】

- 最近の科学的知見に基づき、**動物の輸送に関するアニマルウェルフェア章**（第7.2章、7.3章、7.4章）について、見直し予定。2022年2月のコード委員会で作業の優先順位付けを検討。

【動物のと畜に関するアニマルウェルフェア】

- 最近の科学的知見に基づき、**動物のと畜に関するアニマルウェルフェア章**（第7.5章）について、見直し作業中。2022年2月のコード委員会でアドホックグループの検討内容の報告がある予定。

【採卵鶏生産システムのアニマルウェルフェア】

- 2022年2月のコード委員会で今後の方針について検討される予定。

検討中の主なトピック

【犬の個体数管理（第7.7章）】

- 2030年までに犬由来の狂犬病による人の死亡をなくすためのOIE世界戦略に沿って見直し作業を行っており、2022年5月のOIE総会で採択予定。

【狂犬病（第8.14章）】

- 野生動物における狂犬病の制御に関する勧告規定については、OIEリファレンスラボラトリーの専門家で草稿の検討が行われ、2021年9月の科学委員会で草稿を見直した後、コード委員会に回付。今後、コード委員会で検討。
- 科学委員会では、2030年までに狂犬病による人の死亡をなくす目標の達成のためには、犬由来の狂犬病の制御と撲滅が、野生動物における狂犬病の撲滅を試みるより先に行われるべきとの意見。